

令和4年度 長野市中心市街地活性化プラン 数値目標フォローアップ

令和5年7月25日

1 目標指標の状況

活性化の目標	目標指標	基準値 (H28)	目標値 (R06)	最新値		目標達成状況	
				数値	時点	R3	R4
目標1 行きたくなるまち	善光寺仁王門前の歩行者・ 自転車通行量 (人/日)	27,150	26,000	25,305	R04.10	C	C
目標2 住みたくなるまち	総人口に対する中心市街地の 人口比率 (%)	2.47	2.65	2.55	R04.10	B	B
目標3 巡りたくなるまち	①中心市街地(6地点)の 歩行者・自転車通行量 (人/日)	112,504	108,000	83,791	R04.10	C	C
	②中央通り及び権堂アーケード 沿い1階部分の空き店舗数 (件)	21	21	19	R04.10	C	A
目標4 交わりたくなるまち	もんぜんぶら座及び生涯学習 センター並びに権堂イースト プラザ市民交流センターの利用 者数 (人/年)	560,735	550,000	262,924	R05.03	C	C

※ 目標達成状況(目標3の②空き店舗数については、21件より少ない場合A)

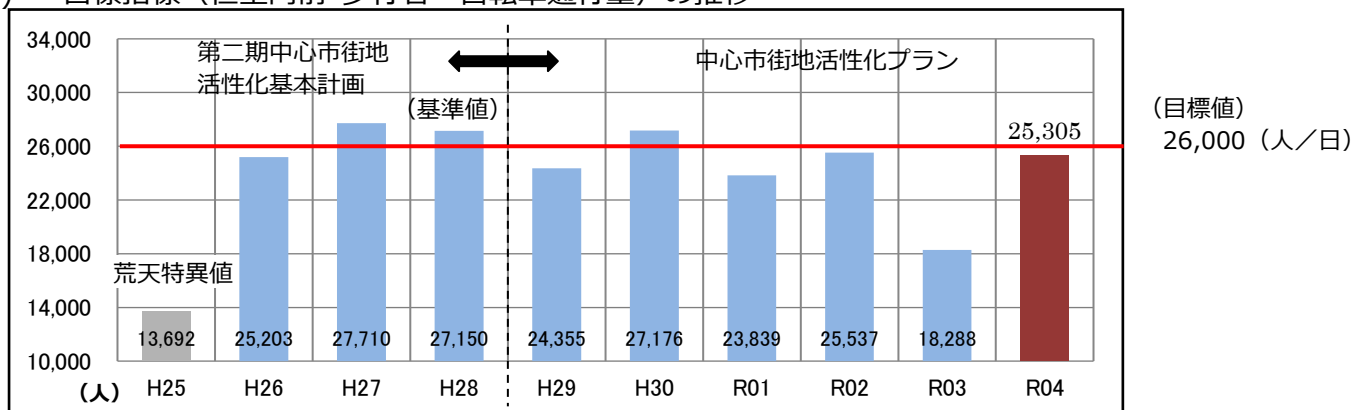
A: 目標値以上

B: 基準値以上、目標値未満

C: 基準値未満

2 目標1「行きたくなるまち」について

(1) 目標指標(仁王門前 歩行者・自転車通行量)の推移



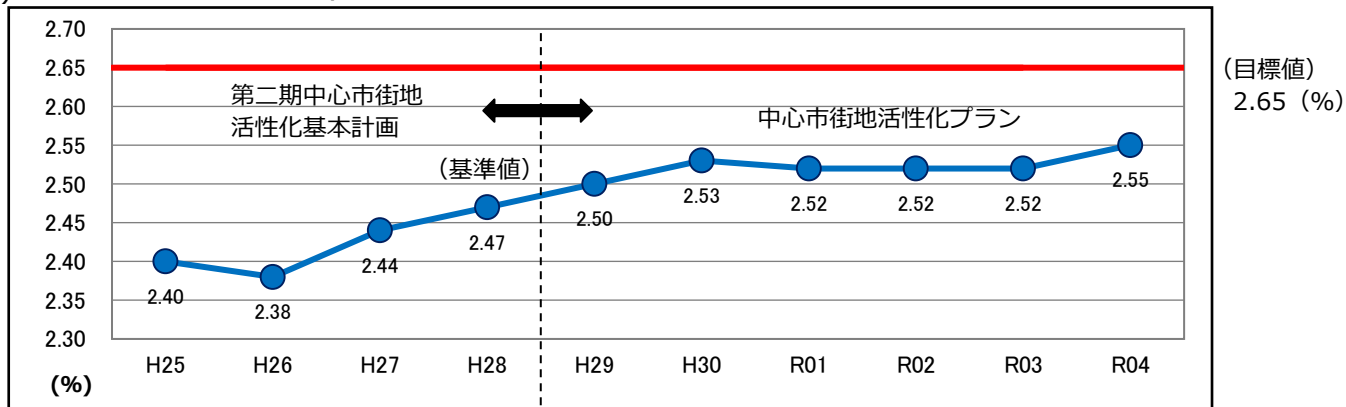
(2) 目標の達成状況と今後の方針(令和4年度の目標達成状況 C: 基準値未満)

令和4年度の通行量は、歩行者調査区域全体では前年比11,428人(107.6%)と増加でした。

目標指標である「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量」については、前年比7,017人(138.4%)増加した。要因としては、コロナウイルス感染症第7波が一時的に落ち着き始めた時期であり、自粛ムードが解消され観光目的の出が増加したこと。また、県などの旅行支援策の効果も要因の一つと考えられる。調査地点周辺では通行量が増加してきているため、景観整備やリノベーションによる魅力ある店舗の出店など地域住民やまちづくり団体などと連携し、新たなまちづくりに取り組みながら、価値や魅力を生みだしていく。

3 目標2「住みたくなるまち」について

(1) 目標指標（人口比率）の推移



【長野市総人口、中心市街地人口の実数】（単位：人）

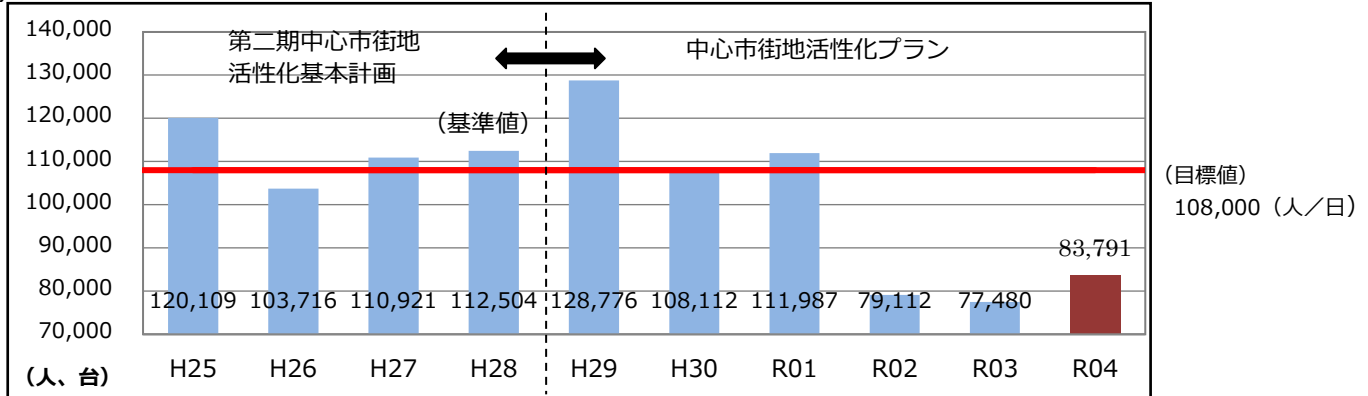
年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
長野市総人口	385,897	384,641	383,639	382,249	380,593
中心市街地人口	9,245	9,157	9,351	9,426	9,516
年 度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
長野市総人口	378,351	376,104	374,273	371,997	369,421
中心市街地人口	9,585	9,472	9,422	9,366	9,408

- (2) 目標の達成状況と今後の方針（令和4年度の目標達成状況 B：基準値以上、目標値未満）
 目標指標である「総人口に対する中心市街地の人口比率」は2.55%であり、令和3年から増加している。

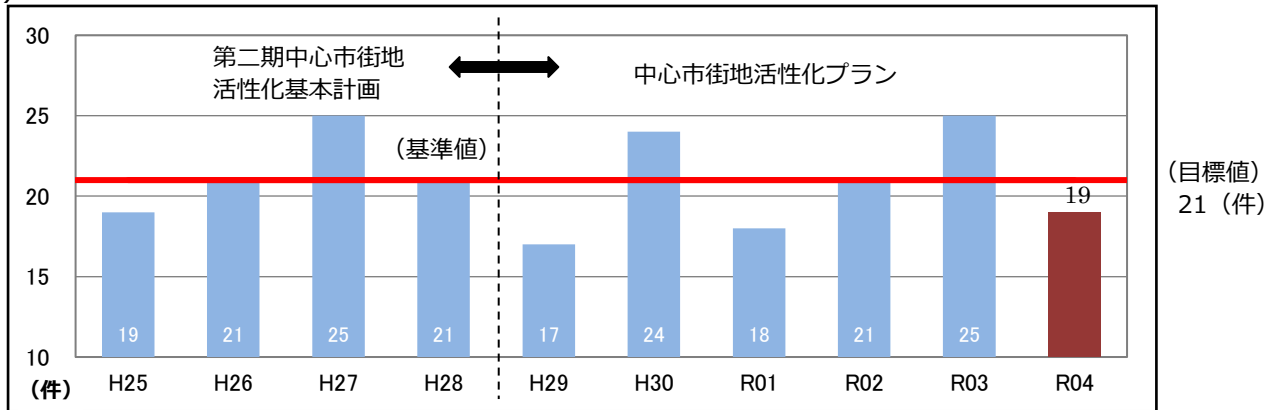
人口推移を町別で見ると、区画整理事業により七瀬（旧：鶴賀）が96人増加しており、民間マンション建設、市営住宅（旧：七瀬従前居住者用住宅）の入居者の増加が要因と考えられる。今後、中心市街地では引き続き民間のマンションの建設が予定されており人口増加が見込まれる。また、中心市街地に点在する空き家について、中心市街地遊休不動産活用事業などにより、若者がまちなかに定着しやすい環境整備を推進し、まちなか回帰を促していく。

4 目標3「巡りたくなるまち」について

(1) 目標指標①（歩行者・自転車通行量）の推移（令和4年度の目標達成状況 C：基準値未満）



(2) 目標指標②（空き店舗数）の推移（令和4年度の目標達成状況 A：目標値未満）



【空き店舗数の地域別内訳】

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
善光寺表参道	12件	14件	17件	19件	16件	21件	14件	17件	17件	10件
権堂アーケード	7件	7件	8件	2件	1件	3件	4件	4件	8件	9件

(3) 目標の達成状況と今後の方針

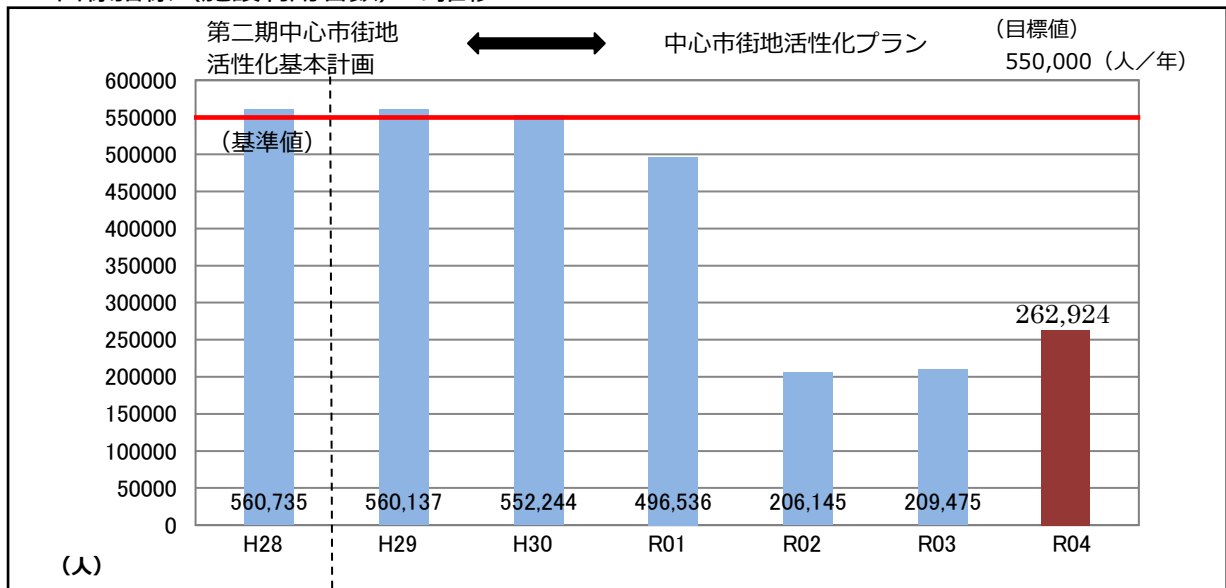
目標指標①の歩行者・自転車通行量（グラフ（1）参照）は、中心市街地内の6地点（32ポイント）で測定しており、令和4年度83,791人、前年度と比較して6,311人増加している。内訳は歩行者72,543人、自転車11,248台で、前年度との比較では歩行者が7,322人増加したのに対し、自転車が1,011台減少した。歩行者の増加については、まちなか広場（セントラルスクエア）での集客イベントの関係や善光寺を訪れる観光客の増加が要因である。（善光寺観光客数：10月の前年度対比144.3%増）

今後は、中央通り歩行者優先道路化事業などにより、まちなかの回遊性を高め「巡りたくなるまち」の目標実現に向けて事業を推進していく。

目標指標②の中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗数（グラフ（2）参照）は、空き店舗数が昨年度から6店舗減少した。内訳は、今年度の新規出店等による空き店舗解消15件、前年度からの継続空き店舗25件、今年度の新規空き店舗9件である。空き店舗その他遊休不動産については、空き店舗等活用事業などにより、空き店舗の解消を進め商店街の活性化を促進する。

5 目標4「交わりたくなるまち」について

(1) 目標指標（施設利用者数）の推移



(2) 目標の達成状況と今後の方針（令和4年度の目標達成状況 C：基準値未滿）

目標指標である「もんぜんぷら座及び生涯学習センター並びに権堂イーストプラザ市民交流センターの利用者数」は、前年度より53,449人（125.5%）増加した。

施設ごとの利用者数は「もんぜんぷら座」が前年度より26,350人増加、「生涯学習センター」は前年度より28,414人増加、「権堂イーストプラザ」は前年度より1,315人減少している。前年度より施設利用者数は増加傾向であるがコロナ前の約半数である。今後、新型コロナウイルスによる利用制限も緩和されたことから、市民が楽しめる、楽しみを感じられるイベントや講座、多様な人が集い交流ができる講演会等を実施し、目標達成を目指す。